

第1回 むらづくり推進委員会議事録

1 日時 令和7年8月27日 13時30分

2 場所 東成瀬村防災情報センター301、302会議室

3 出席者

(1) 東成瀬村むらづくり推進委員 16名 (欠席3名)

- ・東成瀬村商工会長
- ・東成瀬村農業委員会長
- ・認定新規就農者
- ・JAこまち東成瀬支店長
- ・東成瀬村社会福祉協議会長
- ・東成瀬村交通指導隊長
- ・東成瀬村傍観指導隊長
- ・東成瀬村環境保全審議会
- ・東成瀬村子ども・子育て会議 会長
- ・東成瀬村小中学校PTA連合会長
- ・東成瀬村教育委員会教育長職務代理者
- ・成瀬ダム振興事業協同組合 理事長
- ・東成瀬村建設業協会長 (代理)
- ・田子内地域づくり推進委員会長
- ・岩井川コミュニティ推進委員会長
- ・椿川三部落委員会長

(2) 東成瀬村

- ・村長
- ・副村長
- ・事務局 (企画課) 高橋参事
後藤課長補佐
土谷主査

4 内容

(1) 委嘱状交付

※出席委員に委嘱状を村長から交付

(2) 村長挨拶

※開催にあたり、村長から挨拶

(3) 委員及び副委員長選出

- ・ 委員長及び副委員長の選出。委員から「事務局案があれば事務案」との声あり。

- ・ 事務局案として 東成瀬村子ども・子育て会議会長を委員長に、東成瀬村教育委員会教育長職務代理者を副委員長に提案し、全会一致にて選出。

(4) 第5次東成瀬村総合計画の進捗状況等について

※事務局から第5次総合計画（令和3年度～令和7年度）の進捗状況について、資料1、2を使用して説明。

※令和6年度に実施したワークショップの結果概要について、資料3を使用して説明。

(5) 第6次東成瀬村総合計画の基本構想案について、資料4、5を使用して説明。

(6) 質疑応答・意見交換

【委員長】

第6次計画の基本目標には、第5次計画の成果や課題をどのように活かされているか。

【事務局】

今回は、第5次総合計画の実績よりも、ワークショップでの住民意見を重視し、そこから出たキーワードを将来像や基本目標に反映させている。

【A委員】

基本構想案では目的や理念は示されているものの、具体的な施策や事業内容が不明確である。特に、高齢者支援としての「玄関から玄関までの病院送迎・買い物支援事業」や、村内のボランティア団体（16団体）への支援体制強化（特に会計面での自立支援）について具体的な検討を求める。

【事務局】

今回の会議は将来像と基本目標という「方向性」を設定するものであり、具体的な事業や施策については次回の委員会で協議する予定である。

地域公共交通については、現在「地域公共交通活性化協議会」が立ち上がっており、今年度中に「地域公共交通計画」として具体的な施策を落とし込んでいく予定である。

ボランティア団体への支援については、現在関係部署と具体的な施策を検討中であり、後日、担当部署と委員を含めて話し合いの場を設けたい。

【事務局】

村づくりの指標（将来人口2,070人、定住意向90.0%）についてのご所感を伺いたい。

【B委員】

「定住意向90%」という目標について、「やや高い」と感じる。この設定の意図は。

【事務局】

令和6年10月のアンケート結果が85.9%であったため、施策の実施による向上を考慮し、大台となる90%として設定した。住宅政策、子育て対策、高齢者支援など、村が行う様々な政策を住民に理解してもらい、村に住み続けたいと思ってもらえるような取り組みを進めてまいりたい所存である。

【C委員】

将来人口2,070人という目標について、「移住者数」などの具体的な数値目標も必要ではないか。

【事務局】

移住者数は具体的な政策や重点事業のKPIとして別途設定していくことになるため、大きい部分となる基本構想には具体的に記載していない。

(7) その他

※資料6を使用し、今後の予定を確認。